

平成28年度「やまがた緑環境税」活用事業（ハード） 取組みの考え方

(単位：千円)

| 区分 | 事業名 | 担当課 | 事業の概要 | H27事業量等 | H27当初予算額 ()は国庫補助金等の額 | 平成28年度の事業取組みの考え方 |
|------------------------|---------------------------------------|---|---|----------------------|---|---|
| I 環境保全を重視した施策の展開 | ① 環境保全を重視した森林整備の推進 | | | | | |
| | □ 荒廃森林緊急整備事業 | 林業振興課 | 長期に管理放置された森林を整備し、森林の公益的機能を確保 | 1,300 ha | 450,227 (664,789) | 全体計画の達成に向けて、着実に森林整備を進めていく。 |
| | 水源かん養などの公益的機能の高い森林の整備 (針広混交林整備) | | ○ スギ人工林に広葉樹を導入するための強度の間伐や森林作業道の設置など | 50 ha | 13,717 (18,301) | |
| | | | ・ やまがた緑環境税による整備 | 20 ha | 7,366 | |
| | | | ・ 国庫補助事業を活用した整備(環境林整備事業) | 30 ha | 6,351 (10,935) | |
| | スギ人工林の再生を起点とした環境に配慮した森林経営の展開(長期育成林整備) | | ○ 間伐及び森林作業道の設置など、森林組合等が森林所有者に代わって施業を一元管理し、森林の公益的機能を維持する仕組みを構築 | 840 ha | 253,587 (463,565) | 森林経営計画内の荒廃森林の間伐と森林作業道の開設を積極的に推進し、森林組合等による長期受託による健全な森林経営に繋げていきたい。 |
| | | | ・ やまがた緑環境税による整備 | 300 ha | 151,196 | |
| | ・ 国庫補助事業を活用した整備(森林環境保全直接支援事業) | | 540 ha | 102,391 (312,369) | | |
| | 病害虫等で荒廃した里山林の再生 (里山林整備) | | ○ 病害虫被害木の伐採、広葉樹の植栽など | 410 ha | 182,923 | |
| | | | ・ 病害虫や風雪害等により、自然回復出来ない広葉樹林の整備 | 300 ha | 154,399 | |
| | | | ・ ナラ枯れ2次被害対策 | 40 ha | (上記に含まれる) | |
| | ・ 森林景観整備(市町村補助) | 70 ha | 28,524 | | | |
| | □ 森林資源再生事業 | 林業振興課 | 再造林とその後の保育施業を、森林組合等が森林所有者に代わって一元管理し、森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築 | 50 ha | 6,996 | 造林未済地の解消に向け、主伐後に再造林を行う仕組みを早急に構築し、森林保全と木材利用が両立された持続的な森林管理を推進するため、再造林の支援を拡大し実施していきたい。 |
| | | (小計) | | 1,350 ha | 457,223 (671,785) | |
| | ② 環境保全に配慮した資源循環利用の促進 | | | | | |
| □ 森林資源循環利用促進事業 | 林業振興課 | 間伐で発生する低質材を、合板等やペレット等のバイオマス燃料として利用するための搬出への支援 | 63,000 m3 | 53,300 | 県内の低質材利用、木質燃料利用を推進するため、次年度も継続して実施したい。 | |
| | | ① 合板・ラミナ材等用 | 38,000 m3 | 20,090 | | |
| | | ② 木質燃料用 | 25,000 m3 | 33,210 | | |
| □ やまがた木のある暮らし・街づくり促進事業 | 林業振興課 | 豊かな木のある暮らしの実現に向けて、未利用間伐材等を活用した木工製品の普及と利用拡大を図る。 | 1 式 | 1,250 | 木のある暮らしのさらなる普及促進のため、次年度も継続して実施したい。 | |
| □ 広葉樹林健全化促進事業 | 林業振興課 | ナラ枯れ被害木を含むナラ林の伐採によるチップ等への活用とナラ林の若返り、害虫の駆除を行うための搬出への支援 | | 6,250 | 今後も、ナラ枯れ被害木を含むナラ林を伐採し、害虫の駆除と併せてナラ林の若返りに取り組んでいきたい。 | |
| | | ・ 伐採搬出に関する助成 | 6,000 m3 | 6,000 | | |
| | | ・ 面的防除に関する助成 | 5 箇所 | 250 | | |
| □ ナラ枯れ被害対策検証事業 | 林業振興課 | 合成集合フェロモンによる面的防除対策や専門家による効果検証など | フェロモン設置:5箇所 | 300 | ナラ枯れ被害の軽減に向けた被害対策の検証のため、次年度も継続して実施していきたい。 | |
| | (小計) | | | 61,100 | | |
| I (ハード事業)計 | | 計 | | | 518,323 (732,885) | |

平成28年度「やまがた緑環境税」活用事業（ソフト） 取組みの考え方

(単位：千円)

| 区分 | 事業名 | 担当課 | 事業の概要 | 事業量等 (年間実績見込み) | H27当初予算額 ()は国庫補助金みの額 | 平成28年度の事業取組みの考え方 |
|-----------------------------|-------------------------------|--|--|--------------------------------|---|---|
| II 21世紀にふさわしい県民と森林の関わり構築 | ① 県民参加の森づくりの推進 | | | | | |
| | ■県民みんなで支える森・みどり環境公募事業 | みどり自然課 | 森づくり活動等の公募事業(事業主体:地域住民 補助率10/10) | 一般助成:107事業 テーマ助成:7事業 | 30,000 | 多くの県民が参加する里山林整備や暮らしの中に木を使う取組みなど、地域活性化に結びつくものを中心に、引き続き県民の自主的な森づくり活動を支援していきたい。 |
| | ■みどり環境交付金事業 | みどり自然課 | 市町村への交付金事業(事業主体:市町村 交付率10/10) | 168事業 内特別枠62事業 | 90,000 | 地域産材や林産物など森の恵みを活用する産業振興の側面もある取組みや、住民と児童生徒の協働による自然環境学習の推進など、里山再生アクションプランに基づく市町村の独自性ある取組みを引き続き支援していきたい。 |
| | ■やまがた絆の森プロジェクト推進事業 | みどり自然課 | 「やまがた絆の森プロジェクト」(県民、企業等の多様な主体が、気軽に森づくりに参加でき、森づくり活動の成果が実感できる仕組み)による森づくり参加者の拡大、企業等の森林整備による二酸化炭素の吸収・削減量の評価・検証制度の実施 | 26協定(1協定継続) 31企業・団体等(1協定継続) | 1,121 | 県民参加の森づくりを一層促進させるため、企業の参加促進を図るとともに、地域活性化に寄与する絆の森コンソーシアム(森づくり活動を通じた企業と市町村、地域住民等の共同組織)への支援を強化していきたい。 |
| | | (小計) | | | 121,121 | |
| | ② 自然環境保全対策の推進 | | | | | |
| | ■生物多様性戦略推進事業(一部) | みどり自然課 | 自然環境の異変を早期に察知する調査・検討 | 各種調査 | 4,180 | 希少な動植物の生息環境が悪化する一方、イノシシやニホンジカ、クマなどの目撃情報は増加し、今後の農作物等の被害拡大が懸念されている。生物多様性の保全を図りつつ、人間と野生鳥獣との軋轢を軽減し、自然と人間社会との持続的な関係を構築するため、生息状況等の調査を継続して実施し、野生生物の適正な保護又は管理に活用していきたい。 |
| | ■鳥獣保護管理法推進事業(一部) | みどり自然課 | 里山を中心とした大型野生動物の実態調査 | ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル等大型野生動物の生息動向調査 | 1,911 | |
| | ■総合クマ対策推進事業(一部) | みどり自然課 | 森林生態系の構成要素であるクマの生息状況調査等 | クマの生態調査、 狩猟者育成研修 | 2,196 | |
| | ■大型鳥獣等野生復帰事業(一部) | みどり自然課 | 傷病等で救護された野生鳥獣の復帰支援 | クマ放獣、救護所巡回指導 | 1,423 | |
| | | (小計) | | | 9,710 | |
| | ③ 自然環境学習や森に親しむ環境づくりの推進 | | | | | |
| | ■自然環境学習推進事業 | みどり自然課 | 森林環境学習に必要な副教材やポケット版教材の作成・配布 | 副教材、ポケット版教材の作成・ 配布 | 1,512 | 副教材等の内容を充実させるとともに、教育関係者との連携を図りながら自然環境学習を進めていきたい。 |
| | ■総合支庁実施事業 | | | | 1,957 | |
| ・里山の森づくりサポーター育成事業 | 村山総合支庁 森林整備課 | 気軽に森について学び、森づくり活動に参加できるフィールドを県民の森に設定しボランティア団体などの一般県民を森林案内や木工クラフトのサポーターとして育成する。 | 研修会2日間 | 141 | 県内4地域の特性に応じた自然環境学習や、森に親しむ環境づくりに関する先導的な取組みを引き続き実施していきたい。 | |
| ・最上の自然環境教育マスター養成事業 | 最上総合支庁 森林整備課 | 「巨樹の国」最上の自然遺産、生活文化を次世代に引き継ぐための自然環境教育指導者の育成(養成講座の開催) | 養成講座3回、指導者登録5名 | 354 | | |
| ・みんな一緒に森林活動フィールド振興事業 | 置賜総合支庁 福祉課 | 森林活動インストラクターの介助案内研修及び障がい者等の森林体験活動による実証作業 | 介助案内研修1回、森林活動2 回 | 338 | | |
| ・おきたま森林・自然環境学習推進事業 | 置賜総合支庁 森林整備課 | 「源流の森」における、森づくり活動などの支援を行う人材「森の案内人」の養成。「源流の森」を活用した新たな森づくり活動を推進するため条件整備等。 | 養成講座3回(総合講座1回、専門講座2回)、測量・地拵え | 518 | | |
| ・出羽庄内公益の森づくり事業 | 庄内総合支庁 森林整備課 | 庄内海岸クロマツ林を保全するための出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催、ボランティア活動支援や指導者の育成、森林環境教育の推進 | ボランティア活動支援等64回、 | 606 | | |
| | (小計) | | | 3,469 | | |
| II 計 | | 計 | | | 134,300 | |
| III 新たな森づくりの推進 | ① 推進体制の整備 | | | | | |
| | ■やまがた緑県民会議 | みどり自然課 | やまがた緑県民会議の開催、やまがた緑環境税制度・税を活用した事業の評価検証 | 県民会議4回 | 1,580 | 検討チームの開催等により県民の意見を聴取しながら評価検証を進め、28年度中の見直しを行いたい。 |
| | ■森づくりサポート体制推進事業 | みどり自然課 | 県民参加の森づくり活動の総合的な支援、地域での森づくり団体のネットワーク化の支援、森づくり活動への支援等を担う人材の育成 | 年間支援 森づくり報告会4回 | 16,071 | 森づくり指導者のスキルアップや指導者間のネットワーク構築など人材の育成を図り、県民が森づくり活動に参加しやすい支援体制を強化していきたい。 |
| | | (小計) | | | 17,651 | |
| | ② 普及啓発の強化 | | | | | |
| | ■みどりの循環県民活動推進事業 | みどり自然課 | 新たな森づくりへの理解を深めてもらうため、森の感謝祭の開催や普及啓発活動の展開 | 森の感謝祭1回、地区感謝祭 | 8,102 | 6月の森の感謝祭を全国豊かな海づくり大会の記念行事として開催するとともに、「本県の豊かな森を守り、活かし、暮らしに活かす」みどりの循環県民活動を広く支援していきたい。 |
| | ■森林の水涵養機能の理解促進 | 環境企画課 | 水資源保全推進事業(一部) | 地域フォーラム2回 | 300 | 森林の水涵養機能の重要性を一層普及するため、周知のための取組みを継続していきたい。 |
| | ■やまがた緑環境税広報啓発事業 | 税政課 | やまがた緑環境税の周知、広報 | タウン情報誌広告 1回 | 324 | 「やまがた緑環境税」は、県民が幅広く負担していることから、県民の幅広い層に対して効果的な周知広報を図っていきたい。 |
| | (小計) | | | 8,726 | | |
| III 計 | | 計 | | | 26,377 | |
| II + III (ソフト事業)計 | | 計 | | | 160,677 | |
| | | 合計 | | | 679,000 (893,562) | |